

山梨県北杜市教育委員会

(概要)

太陽光発電設備

- ・ 設置校数：小学校 15 校のうち 13 校、中学校 9 校のうち 8 校 給食センター1 施設
- ・ 総設置容量：1,000 kW
- ・ 環境を考慮した学校施設（エコスクール）として既に取り組んでいる学校数：中学校 2 校
- ・ エコスクールへの取組時期：2005 年 9 月～
- ・ エコスクール化の方針：日本一の日照時間の有効利用
- ・ 要旨

日本一の日照時間を生かした学校づくりのため、市内ほぼ全ての小中学校に太陽光発電設備（総設置容量 1,000kW）を導入し、児童生徒のみならず、地域ぐるみで環境問題に対する意識向上が図られている。

(エコスクール化の内容)

- ・ 本市は、地球温暖化防止対策に積極的に取り組んでおり、次世代を担う子供たちに環境意識を高めてもらうため、市内ほぼすべての小中学校に太陽光発電設備（総設置容量 1,000kW）を設置する。（平成 22 年度竣工予定）

また、明野中学校には太陽集熱暖房設備、ペレットストーブを、小淵沢中学校には太陽集熱暖房設備、風力・太陽光型ハイブリッド電灯などを、それぞれ校舎等の改築時に導入している。

今回、太陽光発電設備を導入するにあたっての検討段階では、あわせて多様な設備（風力発電設備等）も設置した方が良いのではとの意見もあったが、本市は、気候条件の面で太陽光発電が最も適しているため、他の設備導入は断念した。

今後は、設置した太陽光発電設備を、環境教育に最大限活用していくために、一過性とならないよう工夫が必要であると考えます。



(明野中学校 節電状況をチェック)



(明野中学校 気象観測データの公表(校内に掲示))



(設備導入検討時利用資料)

(エコスクール化の効果)

・平成17年度に市内中学校施設第1号として、明野中学校に設置した太陽光発電設備(20kW)により、年間使用電力量の約18%の削減が図られた。

このことから、今年度、市内21校及び1施設に設置する設備(計1,000kW)の共用が開始すれば、学校全体電力量の約35%の削減が見込まれる。

また、小淵沢中学校においては、太陽集熱暖房設備を設置したことにより、生徒の環境意識が高まり、年間使用電力量の削減目標を掲げて実践している。

子ども達に環境学習を行う際においては、冊子により説明するよりも、自校に設置されている設備を用いて実施することで、身近に感じることができ、実物大の環境教育の推進が図られている。

(地域等の環境・エネルギー教育、意識向上)

・環境資源を活用した教育を手軽に取り組めるよう「北杜市地球温暖化防止・環境学習プログラムガイド」を作成し、北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会と協働し、学習会(廃棄物を利用した自然エネルギー活用方法等)を、幅広い年齢層にわたり実施している。学習会終了後に実施したアンケート調査では、地球温暖化が大変な問題であることがよく分かったとの回答が80%と、環境意識の向上が図られたものと感じている。

北杜市地球温暖化防止・環境学習プログラムガイド

<北杜市 小学校高学年・中学校向け環境教育教材>



(北杜市地球温暖化防止・環境学習プログラム)

生徒会活動報告書

小淵沢中学校生徒会

○自然を守ろう!

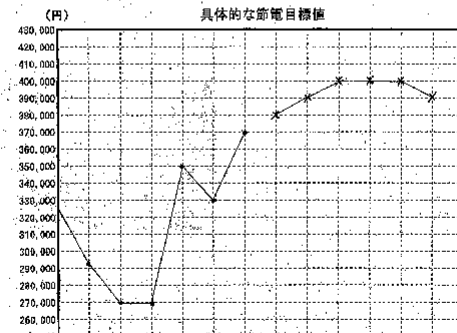
平成20年度生徒会スローガン 「信頼と挑戦」
平成20年度重点項目

- ①さわやかな挨拶を交わそう!
- ②環境問題に取り組もう!
- ③思いやりを持って行動しよう!

②「環境問題に取り組もう」

(1) 節電

今、「地球温暖化問題」をはじめ、地球環境は危機的な状況にあるといえます。そこで、身近な生活の中で私たちにできることが何かないかと考え、「節電」に取り組むことを確認しました。具体的な取り組みとして、①各クラスで係決め、無駄な電気を減らす。②冷暖房の使用も極力控える。などを考えています。節電に取り組むことで、電気を減らすことができるばかりか、環境対策にも貢献できます。私たちにできることは小さいことかもしれませんが、このような取り組みから地球規模での環境問題に関心を持って行ければと思います。



(小淵沢中学校 生徒会活動報告書)

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3(月)



(学習会状況)